

社会医療法人 愛仁会 千船病院 地域医療連携ニュース Chibune General Hospital and community health cooperation news

2018年夏号 vol. 23



【産婦人科】婦人科低侵襲手術への取り組み



"The Best Doctors in Japan™ 2018-2019" 選出

大木 規義 医師

【小児科】24時間365日対応の小児救急医療

【脳卒中内科】「第1回すみれの会」(認知症相談会開催報告)

【看護科】特定看護師としての取り組み 【がん相談支援センター】レインボーサロン開催報告



婦人科低侵襲手術への取り組み



産婦人科 主任部長 村越 誉

日本産科婦人科学会専門医、指導医/日本産科婦人科内視鏡学会腹腔鏡技術認定医/日本内視鏡外科学会技術認定医/日本婦人科腫瘍学会代議員/日本がん治療認定機構がん治療認定医/手術支援ロボット「ダヴィンチ」術者認定/日本周産期・新生児医学会 母体・胎児専門医/医学博士

産婦人科で年間1,000件以上の手術を行って います

千船病院産婦人科は、19名の産婦人科医師(うち、女性医師12名)が在籍し、常に2名以上の常勤の産婦人科医師が病院内で待機しています。また、MFICU(母体胎児集中治療室)6床、NICU/GCU(新生児集中治療室)を各15床備える大阪府指定の地域周産期母子医療センターです。近年、これら周産期医療に加え、婦人科悪性腫瘍ならびに婦人科腹腔鏡下手術に力を入れ、産婦人科のみで年間1,000件以上の手術件数を取扱い高度な医療を提供しています。(図1)





図 1

日本産科婦人科内視鏡学会の腹腔鏡技術認 定医師が4名在籍しています

当院産婦人科には、4名の「日本産科婦人科内 視鏡学会の腹腔鏡技術認定医」が在籍し、「同学会 の腹腔鏡技術修練施設」に認定されています。特 に大木規義医師は同学会技術認定医試験に提出さ れる手術ビデオで最高得点を得た者に贈られる「武 内賞」を受賞しました。また同医師はベストドク ターズ®社から、医師同士の評価によって選ばれる "The Best Doctors in JapanTM 2018-2019" に選出さ れ、全国的にも高い評価を受けています。(図2)





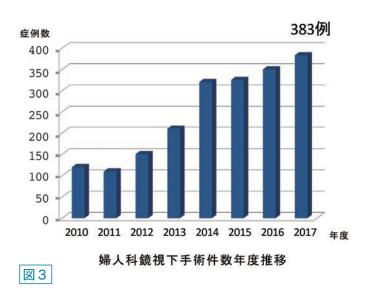
Best Doctors in Japan(™)

Best Doctors、ベストドクターズ、Best Doctors in Japan および star-in-cross ロゴは米国および他国におけるベストドクターズ社の商標です。

図 2

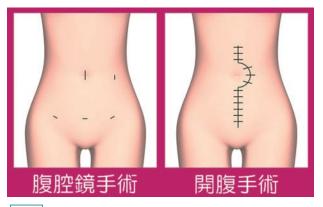
当院では、子宮筋腫、卵巣嚢腫ならびに子宮内膜症などの良性疾患の治療に際して、腹腔鏡や子宮鏡などの鏡視下手術を標準とし、可能な限り開腹手術創を残さない治療を心掛けています。子宮

筋腫に対する腹腔鏡下子宮全摘術(TLH)、腹腔鏡下子宮筋腫核出術(LM)、卵巣嚢腫、子宮内膜症ならびに子宮脱等の骨盤臓器脱に対する腹腔鏡下手術で多数の実績を残しています(図3)。腹腔鏡



下手術は開腹術に比べて創部が小さく痛みが少な く、整容性に優れ術後の回復が早い特徴がありま す。(図4)





さらに拡大視することが可能であるため精密な手 技が可能となり、より高度な手術に適していると言 えます。さらに当院では3Dモニターも導入してお り、より精巧な画像で手術を行っています。これら の手術を「日本産科婦人科内視鏡学会の腹腔鏡技術 認定医師」が主導して行うことでより高い安全性も 担保しています。

子宮頸がん・子宮体がんへも腹腔鏡下手術 が可能です

また当院は、地域における「がん診療拠点病院」 ならびに「がん治療認定機構における研修施設」 に認定されており、4名の同機構がん治療認定医 が在籍し積極的に婦人科がんの治療を行っていま す。子宮頸がんに対して自律神経温存広汎子宮全 摘術、子宮体部を温存する広汎子宮頸部切除術に 加え、2017年7月に大阪市内の病院では唯一「先 進医療」として腹腔鏡下広汎子宮全摘術を導入し ました。また2018年4月の医療改訂により腹腔 鏡下広汎子宮全摘術は保険収載で行うことが可能 となりました。子宮体がんに対しては、2015年 より「腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体癌に限 る) | の施設認定を受け、腹腔鏡下に準広汎子宮 全摘術ならびに骨盤リンパ節郭清術を施行し、患 者様の QOL に配慮した治療を心掛けています。 また進行子宮がんや卵巣がんに対しては、骨盤な らびに傍大動脈リンパ節郭清術を徹底して行うこ とで、根治性と安全性を重視した治療を行ってい ます。

子宮筋腫・子宮頸がん・子宮体がんにロボット手術が導入されました

さらに2017年7月の福町への新病院移転を機に、 最新型「da Vinci Xi」を導入し、4名が Intuitive Surgical Japan 社の「手術支援ロボット da Vinci 術 者認定」を取得しています(図5)。既に2018年1



月より子宮頸がんに対する「da Vinci Xi」を使用した「ロボット支援腹腔鏡下広汎子宮全摘術」を開始しました。これまで泌尿器科領域でのみの保険収載でしたが、2018年4月の医療改訂により泌尿器科以外の12手術で保険収載が可能となり、婦人科領

域では子宮筋腫等の良性子宮疾患と子宮体がんへの「ロボット支援腹腔鏡下手術」が保険収載で可能となりました。当院でも7月から子宮筋腫等の子宮良性疾患への「ロボット支援腹腔鏡下子宮全摘術」を安全に開始しています。(図6)

当院が従来から注力してきた周産期医療、産婦人 科救急医療に加え、最先端の婦人科医療を安全に取 り入れ「女性の一生のライフサポート」を行って参 ります。『女性ファースト』をモットーに地道に努





(写真筆者提供)



小児急性期の専門的医療を提供







肺炎や腸炎などの小児の急性感染症をはじめ、川崎病、アトピー性皮膚炎や気管支喘息等のアレルギー疾患、熱性痙攣やてんかん等の小児神経疾患、ネフローゼ症候群や腎炎等の腎疾患、心臓疾患、代謝内分泌疾患などの診療を行っています。また、予防接種や乳児健診も大切にし、子供達の健康増進にも力を注いでいます。



小児救急医療

24時間365日対応

土日祝もご紹介に対応しています。



<専門外来>

①アレルギー外来

アレルギー専門医による気管支喘息、アトピー性皮膚炎、食物アレル ギーなどの検査・治療を行っています。



小児神経専門医によるてんかんを中心とした神経疾患の診断・治療を 行っています。

3腎臓外来

専門医師によるネフローゼ症候群、腎炎、学校検診の精査などを行っています。







4心臓外来

小児循環器科医師(国立循環器病研究センター)による心雑音、不整脈、学校心臓検診の精査、川崎病フォローなどを行っています。

5内分泌代謝外来

竹島泰弘主任教授(兵庫医科大学小児科学教室)による甲状腺疾 患、低身長等の内分泌代謝疾患の診断・治療を行っています。



6肝臓外来

主にB型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルスのキャリア母体より出生した児の対応を行っています。

7発達外来

NICU・GCU もしくは一般小児病棟より退院した児について、入院中に対応した各主治医が責任を持って、フォローアップを行っています。

⑧小児肥満外来 新規開設

この数十年の間に国内の経済状況が変わり食生活や生活習慣のおおきな変化がありました。幼児期から多くの脂質摂取や運動不足が続くと肥満になり、思春期以降、肥満に移行するだけでなく骨年齢を促進させて最終的な身長が低くなったり、さらに成人期まで続くと糖尿病や高血圧、心筋梗塞や脳梗塞などの生活習慣病を呈する事が昨今問題視されています。それを予防するには幼児期からの肥満を早期に自覚し改善することが重要です。そこで当院では小児肥満外来をこの夏より開設致しました。肥満の子供達の食生活や運動など生活改善に対応していきます。

<小児科病棟>

小児科病棟は保護者付き添いでの入院とさせていただいています。入 院が必要な患者さまのご紹介、各種検査のご依頼に対応できるよう努力 し、地域の先生方との連携を大切にしていきたいと考えています。



小児科スタッフ紹介





□ 患者さまのご紹介は 地域医療連携室(地域医療科)までご連絡下さい。
TEL:06-6473-9765(直通) FAX:06-6474-0161(直通)
ホームページ:http://www.chibune.aijinkai.or.jp/



「第1回すみれの会」(認知症相談会) 開催報告



脳卒中内科 主任部長 認知症ケア管理委員会 委員長 瀧本 裕



認知症サポート医/認知症予防学会専門医

平成30年4月23日午後2時から1時間、「第1回すみれの会」を開催しました。この会は、もの忘れが気になっている方や認知症の方を介護されているご家族を対象とした集団相談会です。当日は10名の、さまざまな年齢層の参加者が集いました。お茶菓子を提供させて頂き、皆さんで語らいました。認知症予防体操も行い、和やかな時間となりました。アンケートでは西淀川区の方が8割を占め、約8割の方に「よかった」とご満足頂けました。今後も定期的に毎月1回(第4月曜日14:00~)に病院9階ラウンジで開催します。事前予約や参加費は無料ですので、患者さんやそのご家族で認知症について悩んでいる方がおられましたら、ご参加をお気軽におすすめ下さい。



特定看護師としての取り組み

平成27年10月1日から特定行為制度が開始され、全国34都道府県(69機関)で特定行為研修が実施されています。この特定行為研修とは、2025年に向けて、さらなる在宅医療等の推進を図っていくために、個別に熟練した看護師のみでは足りず、医師又は歯科医師の判断を待たずに、手順書により、一定の診療の補助(例えば脱水時の点滴(脱水の程度の判断と輸液による補正)など)を行う看護師を養成するものです。当法人でも平成28年6月から特定行為研修を開始し、現在2期生までが修了しています。

千船病院に3名(呼吸器関連、動脈血ガス 分析関連、循環動態に係る薬剤投与関連、創傷 管理関連、血糖コントロールに係る薬剤投与関 連)、千船クリニックに1名(栄養および水分 管理に係る薬剤投与、透析管理関連)、訪問看 護ステーションほほえみに1名(栄養および水 分管理に係る薬剤投与)、計5名(7区分)の 特定看護師が在籍しています。

それぞれの特定行為を安全に実践する為に、 特定看護師が集まり、その中で手順書の見直し、 指示受けの流れなどを細かく決定・整理・修正 しています。この手順書を用いて千船病院内で 動脈血ガス分析関連や創傷管理関連などを実践 し、さらに評価・修正しています。

今は院内のみでの実践だけですが、今後院外 (在宅や近隣の老健施設など)でも実践できる ように手順書や指示受けの流れを整理・調整し

ていく予定です。少 を充実させるために、 引き続き活動を行い の特定看護師活 用開始の際はご協力 お願いします。



レインボーサロン開催報告

がん相談支援センター

早いもので、第11回目となるレインボーサロン(がんサロン)を6月29日(金)に開催することができましたので、ご報告いたします。

梅雨の時期でしたが、悪天候の中7名の方が 参加、いつも全員女性ということが続いていま したが、この度は男性も1名参加されました。

今回は、茶話会形式で自由におしゃべりしてもらえるようにしました。その中で、抗がん剤の副作用や就労の問題についての悩みもありましたが、「周囲の人に病気のことは知ってほしいけれど普通に接してほしい」「主治医には言えない本音もある」と当事者にしか分からない心の葛藤があることを知りました。

レインボーサロンとは

がんの患者さまやそのご家族など 同じ立場の人が、がんのことを気 軽に語り合う交流の場です。



会 場 千船病院9階ラウンジ

費 用 無料

時 間 14:00~16:00 ※開催内容によっては変更があります

対 象 がん患者さまとそのご家族

お問い合わせ窓口

千船病院1階 がん支援センター TEL 06-6471-9541(代表) 月~金 9:00~16:30(日祝除く)

社会医療法人愛仁会 千船病院

大阪市西淀川区福町三丁目2番39号 TEL 06-6471-9541(代表)

06-6473-9765(地域医療科直通) FAX 06-6474-0161(地域医療科直通) http://chibune.aijinkai.or.jp



理念

千船病院(千船クリニック)は医療を通じて 社会に貢献します

基本方針

- 患者さまに質の良い医療を提供します
- ・患者さまに安心と満足の頂ける公正な医療を提供します
- ・患者さまのプライバシーと権利を守ります
- ・開放型病院としての役割を自覚し効率の良い地域医療を 提供します